

日本イメージ心理学会第 19 回大会
プログラム・発表論文集

JIA 2018



2018 年 11 月 3 日—4 日

茨城大学 人文社会科学部講義等 11 番教室

共催 茨城大学人文社会科学部

ご挨拶

日本イメージ心理学会第19回大会を茨城大学でお引き受けさせて頂くことになりました。会場は水戸キャンパスになります。近年、上野東京ラインの整備により、水戸駅には東京駅から乗り換えなく1時間強で、茨城空港からはバスで40分程度で到着することができます。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

本大会では、イメージと視覚の相違についてシンポジウムを企画いたしました。イメージと視覚が機能的に等価であることは今まで多くの研究によって示されており、またそれらがイメージ研究を大いに発展させてきたことはいうまでもありません。ただ、両者が同じ特性を持つという等価性だけでなく、両者の非等価性にも焦点を当てていくことが、イメージのさらなる理解につながると考えられます。東京福祉大学の成本忠正先生と筑波大学の井上和哉先生に話題提供をお願いし、最近のイメージと視覚の相違点に関する実験研究のご発表をお願いしております。

また、運営委員会企画として「当事者の体験からみるイメージ：イメージ・感覚・リアリティ」というタイトルの教育講演を開催いたします。これは、本学会の創設当初からの学会員であり、自らが極めて強い直観像素質者であり共感覚者であり空想傾性者でもある石原次郎先生に、ご自身の具体的なイメージ体験をご紹介いただきながら、イメージと身体の関係性、イメージのリアリティ、感覚と記憶の境界、さらにはイメージの本性と定義をめぐってお話いただきます。

本大会が、新たな発想の場や刺激的な場になることを願っております。

日本イメージ心理学会第19回大会
準備委員長 本山宏希

ご案内

1. 日程・会場

日程：2018年11月3日(土)・4日(日)

会場：茨城大学 水戸キャンパス 人文社会科学部講義棟11番教室

住所：茨城県水戸市文京 2-1-1



交通案内

JR水戸駅（北口）バスターミナル7番乗り場から茨城交通バス「茨大行（栄町経由）」に乗車、「茨大前」で下車。時間帯によっては、「茨大正門前」（最寄り）で下車することができます。（バス乗車時間は約25分）

詳しくは下記

- ・茨城大学専用のバス案内ページ

<http://www.ibako.co.jp/regular/univ/ibaraki-univ.html>

- ・水戸駅からのアクセス案内

<http://www.ibaraki.ac.jp/generalinfo/campus/mito/access/index.html>

をご覧ください。

学内の案内

水戸キャンパス



2. 大会スケジュール

第1日目	11月3日(土)	第2日目	11月4日(日)
受付	11:00 -	受付	9:30 -
運営委員会	12:00 - 13:00	研究発表Ⅱ	10:00 - 11:00
研究発表Ⅰ	13:30 - 14:30	教育講演	11:20 - 12:20
シンポジウム	14:50 - 16:30	研究発表Ⅲ	13:20 - 14:20
総会	16:50 - 17:50		
懇親会	18:30 -		

3. 大会参加費・その他費用

大会参加費

大会参加費ならびに関連費用は、以下のとおりです。

<振込先>

口座の種類：一般振替口座（ゆうちょ銀行）

口座番号：00210-8-139765

口座名称：日本イメージ心理学会第19回大会準備委員

正会員，非会員	6,000円	当日参加	7,000円
学生会員	3,000円	当日参加	4,000円
懇親会費（正会員，非会員）	5,000円		
懇親会費（学生会員）	3,000円		
論文集別途購入	3,000円		
学部生聴講	500円		

※ 参加費には論文掲載費、論文集代が含まれています。

※ 学生として参加、聴講する場合には、学会当日に学生証を受付にて提示してください。

※ お支払いいただいた参加費やその他の費用はいかなる理由があってもご返金いたしません。

4. 大会について

研究発表

- 発表は全て口頭発表形式で行います。発表の担当時間は20分です。発表時間15分、質疑応答時間5分を目安としてください。
- 各発表に座長がつきます。座長はコメンテーターも兼ねます。
- 筆頭発表者になるのは、大会期間中1回に限ります。連名発表についてはこの限りではありません。
- 発表用に Windows PC とハブ、ワーホイントを用意しておく他、ご持参された PC やタブレットも接続可能です。HDMI 端子、VGA 端子のプロジェクターを用意していますが、HDMI のみの PC をお持ちの場合には、念のため変換コネクタを持参してください。
- タブレットで接続する場合には、変換コネクタを持参してください。
- 念のため USB メモリーなどにハブ、ワーホイントや PDF ファイルなどを保存し、持参してください。
- 機材や発表に関するご質問は、早めに大会準備委員 (hiroki.motoyama.m@vc.ibaraki.ac.jp) にご相談ください。

運営委員会

11月3日(土)の12:00から人文社会科学部講義棟24番教室(大会会場の上階)にて開催されます。

総会

11月3日(土)の16:50から大会会場にて開催されます。

懇親会

11月3日(土)の18:30から水戸駅近郊の「てんまさ」【茨城県水戸市宮町2-2-31 三友ビル B1F, <https://tabelog.com/ibaraki/A0801/A080101/8000668/>】にて開催いたします。総会後に道案内をいたしますので、ご参加の方は総会終了後まで大会会場付近にてお待ちください。「てんまさ」というお店が近辺に2軒ございます。一つは2F、一つは地下1階です。懇親会会場は地下1階です。

5. シンポジウム・教育講演

シンポジウム

第1日目 11月3日（土）14時50分から

イメージと視覚の機能的非等価性について

企画者・司会	茨城大学人文社会科学部	本山宏希
話題提供者	東京福祉大学心理学部	成本忠正
話題提供者	筑波大学人間系	井上和哉
指定討論者	北海道大学大学院文学研究科	森本琢

教育講演

第2日目 11月4日（日）11時20分から

当事者の体験からみるイメージ：イメージ・感覚・リアリティ

司会者	岩手大学人文社会科学部	松岡和生
講演者	東洋大学総合情報学部	石原次郎

6. 研究発表

研究発表Ⅰ【第1日目 11月3日（土）13:30-14:30】

座長 今井史

1. イメージ内容の実現性、身体性が視覚イメージ鮮明性に及ぼす効果
北海道大学 ○今井史
北海道大学 小川健二
2. 立体折り紙イメージにおける心的操作の役割
北星学園大学短期大学部 ○藤木晶子
3. 長期記憶由来の複数のオブジェクトを空間的かつ同時に操作する新しいイメージ
課題の提案とその検証
北海道大学大学院文学研究科 ○森本琢

研究発表Ⅱ【第2日目 11月4日（日）10:00-11:00】

座長 百瀬容美子

1. 先天性視覚障害選手向け運動イメージ生成評価基準の作成
常葉大学教育学部 ○百瀬容美子
常葉大学教育学部 伊藤宏
2. イメージ鮮明性テストの得点の分布とテスト改良への提言
山形大学 ○畠山孝男
3. イメージ能力と対象の感情価及び鮮明度がイメージ統御に与える影響
北海道教育大学教育学部旭川校 ○宮崎拓弥

研究発表Ⅲ【第2日目 11月4日（日）13:20-14:20】

座長 岡田 齊

1. 大学生を対象とした悪夢の内容別頻度についての調査

— 苦痛度が高い悪夢の内容を探る —

文教大学人間科学部

東洋大学社会学部

○岡田 齊

松田 英子

2. 発達障害と夢の特徴に関する調査報告

— 自閉症スペクトラム障害と軽度知的障害の合併事例の分析 —

東洋大学社会学部

岩手大学人文社会科学部

文教大学人間科学部

○松田 英子

松岡 和生

岡田 齊

3. 空想傾向がテストと関連のない思考に与える影響

広島大学大学院総合科学研究科

広島大学大学院総合科学研究科

○平田 久子

岩永 誠